

信濃川水系長野圏域河川整備計画（変更原案）に対して学識経験者から頂いた意見及び回答

原案該当箇所				学識経験者	番号	学識経験者から頂いたご意見	回 答	(案)の 該当頁
章	節	項	ページ					
第1章 対象圏域と 河川の現状	第2節 圏域内の河 川の現状と 課題	第1項 治水に関す る現状と課 題	P11	吉谷委員	1	<ul style="list-style-type: none"> 堆砂が進んでいて洪水調節容量を確保できていないのは事実。洪水調節容量を確保できなくなっているためダム再生は必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 記載を修正しました。 	P11
第1章 対象圏域と 河川の現状	第2節 圏域内の河 川の現状と 課題	第1項 治水に関す る現状と課 題	P11	吉谷委員	2	<ul style="list-style-type: none"> 「H29年8月には土砂等の閉塞による・・・」とあるが、閉塞したのは放流管であるため文言を修正すること。また、ダム湖に沈んだ流木も影響しているので追記すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 記載を修正しました。 	P11
第1章 対象圏域と 河川の現状	第2節 圏域内の河 川の現状と 課題	第1項 治水に関す る現状と課 題	P9	櫻井委員	3	<ul style="list-style-type: none"> 「・・・岡田川及び荒砥沢川について、・・・」とあるが、裾花川を追加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 記載を修正しました。 	P9
第1章 対象圏域と 河川の現状	第2節 圏域内の河 川の現状と 課題	第1項 治水に関す る現状と課 題	P11	櫻井委員	4	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年8月に裾花ダムの常用洪水吐きに発生した不具合は、大容量のゲート付放流管に発生した我が国で初めての事例であり、ダムの重要な洪水調節機能が損なわれる危機的な事態であったと認識される。その原因は貯水池内の堆砂の進行に起因し、土砂や流木等が放流管に流入して閉塞しゲート操作ができなくなったことによる。根本的な原因である堆砂の問題を解決しないと今後も同様の不具合が発生する可能性があり、早急な堆砂対策が必要と考えられる。また、近年の日本各地での豪雨災害の頻発に鑑み、ダムの洪水調節機能の維持と向上は重要であり、既設ダムを有効活用することで早期の効果発現が期待される。以上のことから、信濃川水系長野圏域河川整備計画に裾花ダム及び奥裾花ダムの堆砂対策と洪水調節機能の向上を加える変更を行うことは妥当と考えられ、早急な対策の実施が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 裾花ダム及び奥裾花ダムを活用し、堆砂対策及び洪水調節機能向上を図ってまいります。 	—

原案該当箇所				学識経験者	番号	学識経験者から頂いたご意見	回 答	(案)の 該当頁
章	節	項	ページ					
全般	—	—	—	角委員	5	<ul style="list-style-type: none"> 今回の整備計画変更により、裾花ダム及び奥裾花ダムの堆砂対策と洪水調節機能向上について位置付けることについては良いと思う。 		—
手続き	—	—	—	角委員	6	<ul style="list-style-type: none"> 計画について住民の方々に理解を深めて意見を言っていただけるような機会を色々な方法を活用して作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の河川整備計画変更原案について、パブリックコメント等により県民から意見を募集しております。今後詳細な対策案が決まった段階で、説明会を行う等、住民の方に理解を深めて頂き意見を言って頂くよう努めてまいります。 	—